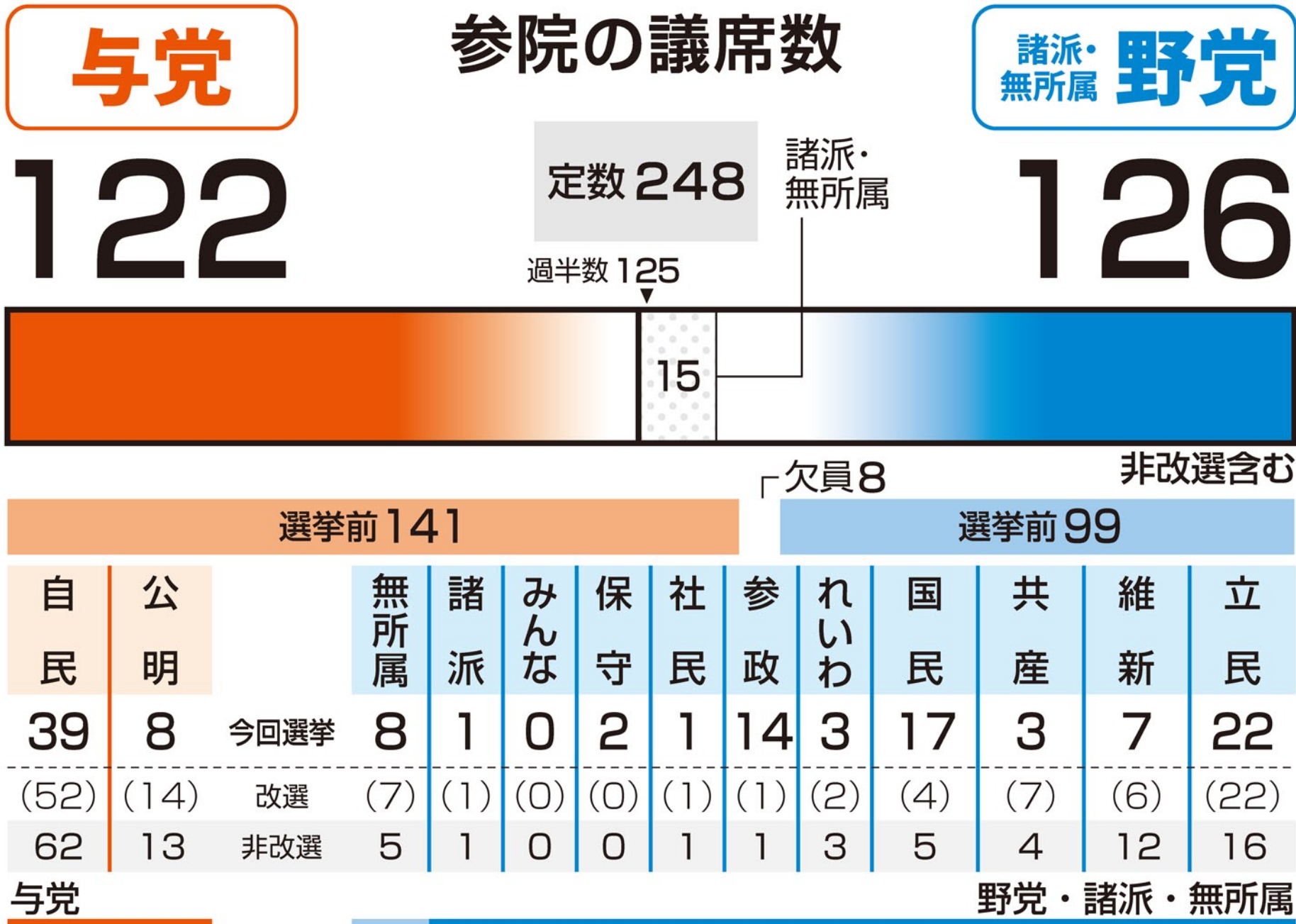


大敗自公 47議席

※正副議長は元の党派に戻した。非改選数の選挙区欠員1は今回選挙で補充



衆参少数与党に転落

立民22、国民17、参政14

第27回参院選は21日午前、125議席全てが確定した。自民、公明両党は改選議席の計66から47に減らす大敗を喫し、非改選75と合わせても参院全体の過半数(125)を割り込んだ。物価高対応への批判が響いた。石破茂首相(自民総裁)は続投の意向を表明したが、衆院に続き参院でも少数与党に転落したことで、責任を問う声が出そうだ。

立民 森裕子氏が当確

立憲民主党は改選22から横ばいだった。比例代表の本県関係では、同党元職の森裕子氏(69)＝新潟市江南区Ⅱが4度目の当選を確実にした。国民民主党は改選4から17に、参政党は改選1から14に大きく増やした。

今回の選挙は、事実上の



森裕子氏

自民は全国32の改選1人区で14勝18敗と負け越すなど振るわず、改選52から39に激減。公明も改選14から過去最低の9を下回る8に後退した。日本維新の会は改選6から1増の7議席を得た。共産党は改選7から3に減らした。